

寄贈図書リスト

馬蹄への道, 山口喜博・谷川 清隆, 322頁, A5判
4,600円+税, 共立出版

重力波は歌う, ジャンナ・レヴィン, 田沢恭子・松井
信彦訳, 四六判, 300頁, 1,600+税, 早川書房

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお, 原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

北海学園大学工学部教員

1. 教授, 准教授または講師 (常勤) 1名
2. (1) 北海学園大学工学部生命工学科
(2) 札幌市
3. 広い意味での物理学分野
4. 一般教育科目としての「物理学概論」, および工学部専門教育科目としての「物理学」, 「物理学実験」など
5. (1) 平成29年4月1日
(2) なし
6. (1) 博士あるいは外国のPh.D.の学位を有する方, または平成28年度中に取得見込みの方
(2) 私学における教育に理解のある方が望ましい
7. (1) 履歴書 (市販履歴書もしくはそれに準ずる形式, 写真貼付, 高等学校卒業後の経歴を空白期間のないように記載, 電子メールアドレスを明記), (2) 教育経験がある場合は教育経験と教育歴を記載したもの, (3) 研究業績 (論文・著書・特許) 目録, (4) 主要論文・著書の別刷 (5編以内), (5) 主要論文・著書の要旨 (主要論文・著書から3編以内を選び, それぞれ1,200字程度に

まとめる), (6) 外部資金獲得状況・受賞歴など, (7) 教育と研究の抱負 (2,000字程度), (8) 照会可能な方2名の氏名と連絡先

8. 平成28年8月29日(月) 必着
9. (1) 〒064-0926 札幌市中央区南26条西11丁目1番1号
北海学園大学工学部 高橋考太
(2) 1) 北海学園大学工学部生命工学科教授
高橋考太
Tel: (011)841-1161 内線7933
e-mail: kohta@hgu.jp
2) 北海学園大学工学部電子情報工学科教授
前田秀基
Tel: (011)841-1161 内線2268
e-mail: h-maeda@hgu.jp
10. 応募書類は簡易書留扱いとし, 封筒に教員応募書類在中 (物理学) と朱書すること。応募書類は返却しません (返却希望の方は, 簡易書留分の切手と返送先を記した封筒を同封してください)。なお, 応募に際し件名を「物理学人事」とした電子メールを以下まで送付すること。今後連絡の必要などがあれば, その返信アドレスに行きます。
e-mail: butsurei@hgu.jp
11. 選考: 審査委員会を設置し, 提出書類を審査の後, 必要に応じ面接を実施します (面接に係る費用は本人負担)。

名古屋大学大学院理学研究科教授

1. 教授1名
2. (1) 素粒子宇宙物理学専攻天体物理学研究室
(2) 名古屋市
3. 電波天文学
4. 観測的研究, 将来計画のための技術開発研究を推

進める方を募集します。加えて、学生教育や大学運営に積極的に貢献できる方を求めます。

5. (1) できるだけ早い時期
(2) 任期なし
6. 博士の学位を有する者
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要), (3) 業績リスト, (4) 主要論文別刷 (5編以内), (5) 着任後の研究計画と教育に対する抱負, (6) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 平成28年9月15日(木) 必着
9. (1) 〒464-8602 名古屋市中種区不老町
名古屋大学大学院理学研究科物理学教室
主任 佐藤憲昭
(2) 素粒子宇宙物理学専攻 金田英宏
e-mail: kaneda@u.phys.nagoya-u.ac.jp,
Tel: 052-789-2452
10. 封書に「電波天文学人事応募書類在中」と朱書し, 書留で送付。応募書類は返却しない。物理学教室の選考基準については
<http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/scholar/pub.html>を参照。

核融合科学研究所国際特任研究員

1. 国際特任研究員1名(年俸制)
2. (1) ヘリカル研究部
(2) 岐阜県土岐市下石町322-6 および米国プリンストン
3. 宇宙/天体プラズマと核融合プラズマに共通する, プラズマ物理学
4. 自然科学研究機構では, プリンストン大学との間で, 宇宙/天体プラズマと核融合プラズマに共通する, プラズマ物理学の基本原理を探求することを目指した国際協力研究を進めており, この枠組みの中に置かれた四つの研究課題にかかわる国際共同研究を行います。研究手法としては, 理論研究, シミュレーション研究, 観測研究, 室内実験研究を含みます。2年間の始めと終わりのそれぞれ約2カ月間は, 核融合科学研究所内に滞在し, 国際共同研究のプランニングとまとめの作業を行い, それ以外の期間は, プリンストン大学の研究室に派遣されます。
5. (1) 平成29年4月1日
(2) 任期2年
6. 採用時に博士の学位を有すること等
7. ①履歴書, ②研究歴, ③選択した研究課題に対

する研究計画書, ④研究業績リスト, ⑤その他選考において参考となる書類

8. 2016年9月30日(金) 17時(必着)
9. (1) 〒509-5292 土岐市下石町322-6
核融合科学研究所管理部総務企画課人事・給与係
(2) ヘリカル研究部 研究主幹 教授 洲鎌英雄
電話: 0572-58-2270(直通)
10. 封筒の表に「国際特任研究員公募関係書類」と朱書し, 郵送の場合は簡易書留とすること。
11. 本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には, 女性を採用します。詳細は以下を参照ください。
URL: <http://www.nifs.ac.jp/jinji/>

賞の推薦

2016年度「第37回猿橋賞」受賞候補者の推薦依頼について

第37回猿橋賞の募集を開始いたしました。

ホームページ<http://www.saruhashi.net/>に募集要項を掲載いたしました。つきましては, 下記事項を貴学会会員へ広くお知らせいただきたくお願い申し上げます。電子メールによるお知らせ, 雑誌等への掲載文の例を下記に掲げさせていただきます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

記

- 1) 対象 : 推薦締切日に50歳未満で, 創立の趣旨に沿って自然科学の分野で優れた研究業績を収めている女性科学者(ただし, 日本に在住・在職で, かつ今後も国内で若手の育成に貢献できる人)
- 2) 表彰内容: 賞状, 副賞として賞金30万円, 1件(1名)
- 3) 応募方法:

【推薦書類の作成】

当会のホームページ <http://www.saruhashi.net/> からダウンロードした推薦書類に記入したワードファイルと添付資料を, 別々にPDFファイル(A4サイズ)を作成してください。

【記入事項】

- (1) 推薦者（個人・団体，自薦も可），受賞候補者の略
- (2) 推薦対象となる研究題目
- (3) 推薦理由（800字程度）
- (4) 主な業績リスト（指定は1頁．やむをえない場合でも追加は1頁まで．）

【添付資料】

主な論文別刷5編以内

【送付先】 saruhashi2016@saruhashi.net

PDFファイルにはパスワードを付け、PDFファイルとパスワードを別送付してください。

4) 締切は2016年11月30日（必着）

（当会の本宛先は推薦書受付専用です．書類は、猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます．書類は返却いたしませんのでご了承ください．）

今後、募集要項に変更がある場合は、ホームページに掲載いたしますので、応募の際はホームページをご確認ください。なお、この件についての問い合わせは、下記に電子メールでお願いいたします。

saruhashi2016@saruhashi.net

平成28年度（第57回）東レ科学技術賞・東レ科学技術研究助成の候補者推薦のお願い

I. 東レ科学技術賞（概要）

1. 候補者の対象：天文学に関する分野で、下記に該当するもの
 - (1) 学術上の業績が顕著な方
 - (2) 学術上重要な発見をした方
 - (3) 効果が大きい重要な発明をした方
 - (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方
2. 科学技術賞：2件
1件につき、賞状、金メダルおよび賞金500万円
3. 候補者推薦件数：日本天文学会からの推薦件数は2件以内

II. 東レ科学技術研究助成（概要）

1. 候補者の対象：天文学に関する分野で自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45歳以下）
2. 研究助成：総額1億3千万円 1件3千万円程度まで計10件程度

3. 候補者推薦件数：日本天文学会からの推薦件数は2件以内

※ I, IIとも日本天文学会の推薦応募締切日は、平成28年9月9日（金）日本天文学会必着

※文献等の別刷は必ず2部ずつ添付してください。返却の希望があればあらかじめお知らせください。

※推薦書用紙は日本天文学会事務所にありますが、下記のホームページからもダウンロードできますので参照ください。

<http://www.toray.co.jp/tsf/index.html>

研究会・集案案内

国立天文台野辺山 特別公開のお知らせ

自然科学研究機構 国立天文台
野辺山宇宙電波観測所

国立天文台野辺山では、日頃行われている天体観測の様子や、最新の天文学研究の成果をより広く知っていただくため、下記の要領で観測所施設の特別公開を行います。暑い季節ですが、涼しい野辺山高原でみなさまのご来場をお待ちしています。

記

1. 日時：2016年8月27日（土）
午前9時30分～午後4時
（入場は午後3時30分まで）
2. 場所：国立天文台野辺山宇宙電波観測所（長野県）
3. テーマ：『ブラックホールを探る旅に出かけよう』
4. 展示・見学：
通常の見学コースに加えて、45メートル電波望遠鏡の観測室などを見学できます。また、宇宙・太陽からやってくる電波をとらえる観測装置の仕組みや最新の研究成果を実験や展示でわかりやすく解説します。スタンプラリーや工作などもあります。
5. 特別講演会：
 - 1) 『重力波天体を追って』
講師：田中雅臣（たなか まさおみ）
国立天文台・理論研究部・助教 理学博士
時間：11:00～12:00

2) 『銀河の中心に潜むもの』

講師：岡朋治（おか ともはる）
慶應義塾大学理工学部・教授 理学博士
時間：14:00～15:00

6. 交通:

- ・鉄道 JR小海線野辺山駅下車 徒歩40分
(駅から無料シャトルバス運行)
- ・自動車 東京・名古屋方面から: 中央自動車道 長坂インターから清里高原道路を経て約20 km. または, 中央自動車道 須玉インターから国道141号線を白田・佐久方面へ約30 km. 群馬方面から: 上信越自動車道 佐久インターから国道141号線を白田・清里方面へ約50 km.

7. ご注意:

- ・入場無料・雨天決行.
- ・室内を見学する場合に上履きが必要です. スリッパをご持参ください. また, 脱いだ靴を入れる袋があるとたいへん便利です. こちらもご持参をお勧めいたします.
- ・特別講演会は会場の関係で定員があります. 整理券を当日発行します.
- ・自動車の方は, 臨時駐車場(旧野辺山スキー場駐車場)をご利用ください. 臨時駐車場から観測所まで無料シャトルバスを運行します. なお, 天文台入口駐車場は大型バス・障害者専用となります.
- ・当日は, 公開時間が普段と異なり, 午前9時30分から午後4時(入場は午後3時30分まで)となりますのでご注意ください.

8. 後援: 長野県, 南牧村役場, 南牧村商工会・商工会青年部

9. 問合せ先:

国立天文台野辺山宇宙電波観測所
〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2
電話: 0267-98-4300 (代表)
URL: <http://www.nro.nao.ac.jp/>
(詳細は随時ホームページでお知らせします)

「もしも君が杜の都で天文学者になったら (もし天)」参加高校生募集

津村耕司 (2016年「もし天」代表・東北大学)

「もしも君が杜の都で天文学者になったら (通称: もし天)」は, 東北大学・宮城教育大学・仙台市天文台が共同で開催する高校生を対象とした合宿形式の天

文学体験講座です. 今年で6回目の開催となり, 全国の科学や宇宙に興味のある高校生に広く認知されつつあります.

「もし天」では, 全国から“宇宙好きの高校生”が集い, 1週間の合宿の中で実際に天文学の研究を行います. 普通の学校での授業とは異なり, 班ごとに議論を進めながら自分たちで研究テーマを設定し, データを取得し, それを解析し結論を導き出すという, 研究の過程を体験します. 天体観測は, 仙台市天文台が誇る1.3 m「ひとみ望遠鏡」を参加者自ら操作しながら行います. そうして得られた研究成果は, 最終日に市民の皆さまの前で発表し, また, 希望者は日本天文学会ジュニアセッション(九州大学で開催)で発表することができます. 期間中は, 各班に教員や学生が付きサポートしますので, 天文学の知識がなくても宇宙に興味のある高校生ならどなたでも参加できます. お近くに興味をもちそうな高校生がいらっしゃいましたら, ぜひともご紹介いただきますようお願いいたします.

* * * * *

[イベント概要]

もしも君が杜の都で天文学者になったら (通称: もし天)

日時: 2016年12月22日(木)～12月28日(水)

会場: 東北大学・仙台市天文台

主催: 東北大学理学研究科天文学専攻, 東北大学国際科学フロンティア研究所

共催: 仙台市天文台, 宮城教育大学

後援: 宮城県教育委員会

平成28年度ひらめき☆ときめきサイエンス採択事業
<https://www.astr.tohoku.ac.jp/MosiTen/>

[参加申込方法]

「もし天」ウェブサイト内の申込みフォームからお申込みください

募集人数: 高校生16名 (高専生の場合は3年生まで)
開催期間となる12/22～28 (6泊7日)
全日程参加できる人

応募締切: 2016年10月14日(金)

参加費用: 8000円程度 (期間中の宿泊費含む. 期間中の食費・交通費は実費負担)

選考方法: 800字程度の作文の提出が必要で.

応募者多数の場合はこの作文で審査します.

[イベントスケジュール]

初日 (12/22・会場: 仙台市天文台)

班ごとに研究テーマを決定

仙台市天文台「ひとみ望遠鏡」見学, 操作説明

2-3日目(12/23-24・会場:東北大学,仙台市天文台)

班ごとに研究計画書作成

研究計画書審査会

審査会に通過した班から,天文観測

4-6日目(12/25-27・会場:東北大学)

得られたデータを解析し研究を進める

最終日に向け発表練習

最終日(12/28・会場:東北大学)

研究成果報告会(一般公開)

2017年3月(会場:九州大学) ※希望者のみ

日本天文学会ジュニアセッション開催

[問合せ先]

津村耕司 助教

東北大学学際科学フロンティア研究所/理学研究科

天文学専攻

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

東北大学青葉山キャンパス

理学合同C棟S502号室

Tel: 022-795-6608

Fax: 022-795-6513

e-mail: tsumura@astr.tohoku.ac.jp

会務案内

2016年3月14日および5月15日に開催された公益社団法人日本天文学会理事会において,正式に入会・移籍が承認された方,退会が報告された方の人数をお知らせします.

入会 正会員: 28名 準会員: 13名

移籍 正会員へ移籍: 7名 準会員へ移籍: 16名

退会 正会員: 111名 準会員: 53名

団体会員: 2名 賛助会員: 1名

訃報

古川麒一郎氏が2016年6月29日にご逝去されました。享年86歳でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と) **vol98** (5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 上野悟, 大栗真宗, 奥村真一郎, 富永望, 萩原喜昭, 馬場彩, 平松正顕, 町田正博, 諸隈智貴, 吉田二美

平成28年7月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円)

発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2016年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)